

# QOLサポーター新潟

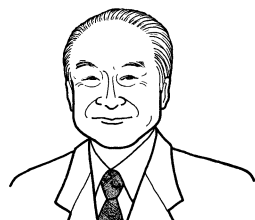
— 新潟医療福祉大学広報誌 —

創刊号

2001年4月5日発行 新潟医療福祉大学広報委員会編集



平成12年12月撮影 南西方向から本学と日本海を望む 真上は島見町市街



## 新潟医療福祉大学の開学にあたって

●学長 高橋 榮明

新潟県、新潟市、そして地域からの多数のご支援のもとで、長い間要望の高かった新潟医療福祉大学がこの2001年4月に開学し、ここに第一回生を迎えることになりました。新入生の諸君を大きな喜びを持って歓迎し

ます。本学は21世紀において医療・福祉の分野の高度専門職を養成する4年制大学で、医療技術学部の理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、健康栄養学科の4学科、社会福祉学部の社会福祉学科から構成され、国

### 誌名「QOLサポーター新潟」の由来

世界一の長寿国となった我が国では、「いのちの長さ」を伸ばすことと同等に「生活の質、Quality of Life, QOL」を豊かにすることが益々重要になってまいりました。新潟医療福祉大学では障害者、高齢者などのQOLを高くすることを支援する（サポート）人材を育成します。このような人材を「QOLサポーター」と名づけました。そして皆様に本学の内容、活動をお知らせする広報誌を「QOLサポーター新潟」としました。

家資格の取得を目標としております。

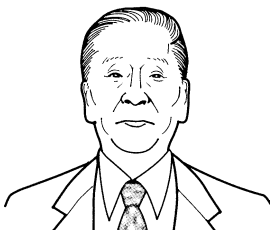
この2学部5学科には、全国から非常に優れたトップクラスの教員60名が決まっており、指導していただけることになりました。

建学の理念としては次の3つのことがあげられます。第1に育成する人材像としては、障害者・高齢者・患者さんの生活の質（Quality of Life, QOL）を豊かにすることを支援する高度専門職です。わが国は、現在男性、女性とも平均寿命が世界一の長寿国となっていますが、高齢になっても、なお質の高い生活を営めるよう、それらの人のQOLを支援する人、サポーターを養成します。第2に、本学は、地域における高度専門職の生涯教育の場として、それを支援し、あるいは地域社会に医療・福祉の分野でいろいろな啓蒙活動などを出来る限りやりたいたいと思います。第3には、この東アジアにおける医療福祉の分野で、トップリーダーたる大学の一つとして、世界に発信していきたいと願っております。

それらの実現のために、5つの特徴を準備しました。

第1にカリキュラムの中で、5学科の学生が共通のコアとして学ぶ医療福祉基礎科目を設定したこと。第2に、学生に必要な読む、書く、聞く、話すの基本的な日本語の技法、コミュニケーションスキルを学ぶ基礎ゼミという科目を設けたこと。第3に学生10名に一名のアドバイザー（相談教員）が、基礎ゼミを担当し、学生の生活指導も併せて行うこと。第4にはノート型パソコンを全員必携とし、インターネットを活用して、インフォメーションテクノロジー（IT）の分野で、学生が時代の流れに対応する技能を習得できること。第5に学生の実習のために、機能的な附属病院として新潟リハビリテーション病院を開設し、さらに老人保健施設、特別養護老人ホーム、グループホームなどの福祉施設も使用できること。

このように本学は、医療福祉分野の高度専門職の育成に地域、全国、さらに国際的にも指導的な立場になる決意ですので、皆さんの今後の暖かいご支援をお願いするものであります。



## 楽しく充実した社会福祉学科を創るために

●社会福祉学部 社会福祉学科 学科長 山手 茂

新入生の皆さん入学おめでとうございます。

社会福祉学科は、21世紀の日本社会が求めている社会福祉の中核的担い手となる社会福祉士を養成することを目的としています。最近、全国各地に社会福祉士を養成する社会福祉学科が新設されていますが、私たち教員は新入生の皆さんとともに、次のような特色のある社会福祉学科を創りたいと望んでいます。新入生諸君に自主的な参加を期待します。

第1に、学生も教員も楽しく共同学習することができる学科です。学生にとっては、学校で学ぶこと、学生同士が親しくなり学習と余暇との両面で楽しく共同活動すること、教員と遠慮なく話しあうこと、などが充実した学生生活を営むために不可欠です。自分の内にとじこもったり、出席を取られるので仕方なく学校に来て授業が終わったらすぐ帰ったりせずに、豊かな人間関係のなかで社会性を養ってほしい。

第2に、社会福祉学科は、在学中に社会福祉の理念・

思想と方法・技術を体得し、卒業後は社会福祉の現場で専門的ソーシャルワーカーとして活躍する社会福祉士を育てる学科です。学校で学習するだけではなく、現場実習やボランティア活動などに積極的に参加して、理論と実践を結びつけるよう図りますから、学生も自主的にキャリア・プランをたてて学習してほしい。

第3に、本学の社会福祉学科は、保健・医療・福祉を総合する「医療福祉大学」の1学科です。他学科の学生と、授業や課外活動、特にボランティア活動などを通じて、友情と相互理解を深め、卒業後はチームワークに参加できるソーシャルワーカーになる準備をしてほしい。

以上のような特色のある学科を創るために、多様な分野の実践経験・研究経験のある教員が集まっています。学生の相談を担当する教員、ゼミや講義を担当する教員に、遠慮せずに何でも相談し、心を開いて話しあい、楽しく充実した学生生活を創ってほしい。





## ようこそPT新入生新潟医療福祉大学に、飛び立て21世紀へ

●医療技術学部 理学療法学科 学科長 黒川 幸雄

まずは30倍を超える難関を突破して入学された学生の皆様に心よりおめでとうのご挨拶を申し上げます。新入生の皆様、ご家族の皆様、新設の新潟医療福祉大学の医療技術学部理学療法学科への御入学誠におめでとうございます。心より歓迎申し上げます。

新入生の皆様は21世紀の幕開けに相応しい本学の第1期生として夢と期待に胸膨らませている事と思います。理学療法学科の教員一同は、そうした第1期生の夢と期待をしっかりと受け止めて、大学生活が実り多い結果を出すよう精一杯指導援助する方針でいます。理学療法学科は、平成11年度文部省厚生省のカリキュラム改正を受け、大学の独自性が大きく見直されました。「QOL（生活・生の質）サポーター」育成もその特徴です。また理学療法学科は解剖学や生理学といった基礎医学の充実を図りつつ、専門科目は基礎理学療法学、理学療法評価学、理学療法治療学、そして新たな地域理学療法学をしっかりとカバーできる教員体制を組みました。

臨床における新しい領域についても外部の優秀な講師を新潟に招請して、進取の気風を鼓舞していくことが考えられます。

少子高齢社会の進展と共に理学療法士の社会的役割は急増しております、卒業生の就職領域を拡充してゆかなければなりません。経済不況の中で新卒者の求人難が叫ばれています。本学科教員は、一丸となって皆様が就職できるまで指導援助していく所存でいます。従って学生は、国家試験合格に向かってしっかり自己・集団学習しなければなりません。

理学療法学科においては、特に第1期生に期待しています。大学の性格や校風を創るのは皆さんです。勉学面の自主的学習能力、患者・障害者治療・指導・援助に関して問題解決能力向上について、クラブ活動などの学生生活面においても、皆さんの積極性にかかっています。どうか学生の皆さんの能動的な大学生活に大いに期待しています。



## OTデスヨ～

●医療技術学部 作業療法学科 学科長 矢谷 令子

本大学作業療法学科の栄えある第一期生としてご入学なさる皆様をスタッフ一同心より歓迎申し上げます。

この開始年次の入学生は、<sup>まさ</sup>将来に教職員とともに創設時代を背負おう一人々々となります。今、新潟医療福祉大学というキャンパスは真っ白です。歴史づくりも、校風づくりも私たち大学に携わる一人々々の絵筆で描かれていきます。そうです。一期生の先に先輩はなく、またこの後皆さんの先輩が生まれるということもないのです。任は重いでしょうが、大いなる特権と思い、心を引き締めて挑戦して戴きたいと願います。

まだ充分な情報は把握されていないかもしれませんが、本大学の理想とする処は、チョッピリ沢山、そして大変魅力的です。本広報誌の大学紹介欄に目をお通し戴きますと、そこには医療福祉における教育の理想郷を垣間見ることができるかと思えます。人は専門家である以前に一人の人間です。皆、人生に夢をかけ、幸せでありたいと願います。それでも生涯すべて満足に過ごせる訳

ではありません。実際に心身不自由な状態になった場合、人はどのように生きて行くのか…若い学生諸氏の皆さん方には実感がないかもしれません。でも貴方の選ばれた作業療法という仕事は、この道のプロになることを目指しています。人生という大道をある人は飛行機、ある人は船、車、列車、車椅子、杖、を使って往き来しますが、必ずそこには様々な形の助けあいが必要です。

作業療法は地味な仕事ですが、建設的であり実質的です。人の心と身体が健康的に生活を営む上での支援はますますその必要性を大にしています。どのような学習の展開になるかは入学してのお楽しみです。自分を生かし人生をQOL（人生の質）に向けて創り上げていく大学生活を自分のものとして下さい。少しでも本大学の理想に近づける教育成果を見ることの出来たことを心より願っております。そしてその成果が、今後交わる人々の喜びとなって広がりますことを衷心より願っております。



## 言語聴覚学科1期生の皆さんへ

●医療技術学部 言語聴覚学科 学科長 湧井 豊

言語聴覚学科に御入学の皆さん本当におめでとうございます。私たち教職員一同は皆さんを心から歓迎致します。私たちは第一期生となる皆さんと共に新しい大学を造るための準備を進めて参りました。言語聴覚士という職種は、平成10年に国家資格が認められた最も新しい仕事ですが、この学科で学ぶ皆さんが21世紀の超高齢化社会の高度医療の若い担い手になることを期待し、精一杯の教育と指導をしたいと考え、私たちティーチングスタッフも各地からこの新潟に熱い思いを抱いてやって参りました。全国の範となるような新しい大学の伝統作りに共に汗を流そうではありませんか。

これから皆さんが学ぶ言語や聴覚の障害は、私たちが日常何げなく使っている「ことば」に何らかの不自由さを生じさせるもので、その原因はさまざまに障害の程度や特徴も異なっています。コミュニケーション能力を障害されるということは人間にとって最も過酷な障害のひとつと言えます。このような障害をもつ人は実に全人口の5%にあたると言われていています。この学科では、乳児から成人までのあらゆるコミュニケーション障害、たと

えば言語発達の遅れや発音の誤り、吃音に代表される小児の言語障害、脳血管障害に伴う発声・発語障害、構音障害、摂食や嚥下機能の障害などの成人言語障害、補聴器、人工内耳、手話、読話など聴覚補償を中心とした聴覚障害などがありますが、各障害別にそれぞれ評価・診断・治療・リハビリテーションの最新の知識と技術を学びます。このカリキュラムを通して、私たちが最も大切なことと考えているのは、障害をもつ人々をいかに理解し、その生活の質を高めるための適切な支援はどうあればよいかということです。そのためには専門的な知識技術だけでなく、人と人とのつながり、暖かい人間関係を重視する姿勢があらゆる発想の原点となって、皆さんの行動の根底に常にしっかりと息づいているようなそんな人材を育てることだと考えています。

この4年間は、楽しく、しかし厳しく、そして遅く成長するために十分な時間だと思います。悔いのない充実した学生生活を送って下さい。私たちも皆さんの夢が実現できるよう最善の努力を致します。



## NUHWスピリッツ・・・？

●医療技術学部 健康栄養学科 学科長 村山 篤子

ご入学おめでとうございます。大きな夢と希望、将来への期待に一抹の不安が交錯して…

こんな思いのなかで、本大学の学生としての第一歩を踏み出されたことでしょうか。私ども教員にとっても思いは全く同じです。新世紀・新大学・新校舎そして新入生、何もかも新しいこのような環境は教員生活の長い私にも初めてのことです。

健康栄養学科は、いうまでもなく管理栄養士の養成を目的としています。私たちを取り巻く社会・生活環境の複雑化、多様化、そしてグローバル化は今までの概念や常識を変えてきました。管理栄養士も同様で、先般のカリキュラム改訂ではそれが一層顕著になりました。管理栄養士は保健医療サービスの担い手として位置づけられ、その役割を十分に発揮することの出来る高度な専門知識と技術を持った高い資質が求められています。医療介護制

度やチーム医療の一端を担わなければなりません。健康保持増進・疾病の一次・二次・三次予防のための栄養指導や高齢者に対する適切な栄養管理の必要性も増えています。そのためには、医学の基礎とともにリハビリテーション医療や社会福祉関連の勉強も欠くことは出来ません。本大学では開学のプランの当初から他大学に先駆けて、チーム医療・介護を視野に入れた5学科共通のコアカリキュラムを導入し、充実した授業体制を整えてきました。

どの様な状況にあっても誰もが生きる喜びを感受し心豊かな生活が送れるような社会の構築に向かって、QOLサポーターとして活躍して下さることを期待しています。何はともあれ、楽しく思い出多い大学の4年間でありませう、勉学にクラブに全力で取り組んでください。全学が一体となって、大学のよき伝統・NUHWスピリッツを育てていきたいと思ひます。

## 教育方針解説(1) 基礎ゼミとアドバイザー制

●社会福祉学科 助教授

塩見 義彦

●同学科 助教授

伊藤 富士江

### 1. 基礎ゼミ

大学の授業で最も魅力的なものは少人数教育によるゼミですが、“基礎ゼミ”というのはあまり耳慣れないのではないかと思います。

これは、人間性豊かな社会の形成に寄与する有為なQOLサポーターの育成を目指した本学の基本方針に則し、学部・学科間の垣根を越えて相互交流し、協力して問題解決に当る姿勢と人間尊重の精神を涵養することを最終的目的としたもので、この基礎ゼミは本学の特色の一つでもあります。

これは、一学年を対象に、原則全教員による全学生を対象としたもので、教員1人に学生10人程度の小グループゼミナールで、テーマを巡り、自ら考え、判断し、意見を述べる事ができるよう、また、健康で充実した大学生活を送るためのベーシックな能力を育む、いわば“助走”の意味も持った、高校の“ホームルーム”に当たるものでもあります。今後の検討課題ではありますが、この基礎ゼミは人間教育の場として、充実強化していくこ

とが大学に対する負託に応えることでもあると考えております。(塩見)

### 2. アドバイザー制

新入生の皆さんは、新しい大学生活を始めるにあたって、「大学の講義にうまくついていけるだろうか」「高校時代と違ってどんな勉強したらよいのだろうか」「よい先生や友人に出会えるかしら」など、不安に思っていることも多いでしょう。そんな皆さんのさまざまな相談にのり、4年間の大学生活を支えていくのが、アドバイザーと呼ばれる担当教員の制度です。

1年生のときは基礎ゼミの教員がアドバイザーになります。基礎ゼミには必ず出席してアドバイザーの指導を受けるようにしてください。また、何か困ったことが起きたり悩みごとが出てきたようなときも、ひとりで抱え込まずに気軽にアドバイザーに相談してください。アドバイザーはいつもひとり一人の学生のことを気にかけています。(伊藤)

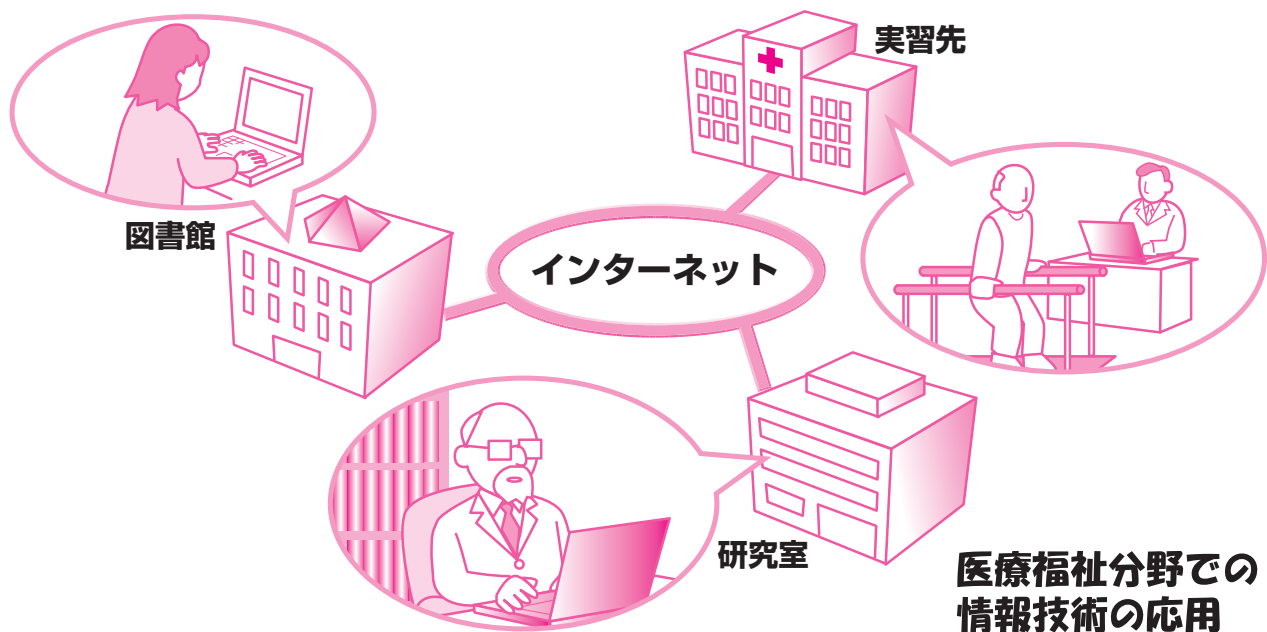
## 教育方針解説(2) 情報処理教育

●理学療法学科 助教授

寺島 和浩

社会では、赤ちゃんからお年寄りまでみんなが生き生きと暮らせるように、人にやさしい科学技術を利用して

様々な障害を取り除くための努力が進められています。たとえば、体の不自由な方がコンピュータを用いて周り



の人々と会話を楽しめるようになった話などを聞いたことがある方も多いと思います。私たちの大学ではそのような情報技術による高度情報化社会への対応を教育目標の1つに掲げており、情報処理の授業を共通科目として用意しております。

その一環として、在学生全員にノート型パソコンを保有していただくことになりました。1年生の内にこのノート型パソコンの操作に十分に慣れ、その後、病院などの実習先からの電子メールでの連絡相談、ワープロを用いたレポートの提出、表計算を用いた各種データ処理、国際的視野に立ってインターネットを用いた情報検索や語学学習、自分の考えをまとめ発表するプレゼンテーション、資格情報やセミナー等の案内、休講情報の取得、

住居やアルバイト情報の取得など授業、実習、学生生活に十分に活用していきたいと考えております。

パソコンの必携については、経済的な負担は相当なものだと思います。しかし、将来、みなさんが時間と場所を選ばず自由にパソコンを使える環境を実現するためには、個人の保有が最も現実的な方法と考え、このたびの方針となりました。現在、大学では演習室や図書館などで各自のパソコンをインターネット接続するための整備を進めております。個人保有にすることで、自分が最も使いやすいようにパソコンを設定したり、好みのソフトを組み込んだりできるなどの利点もあげられます。本学では保険を含めた割安の推薦機種を選定して準備を進めておりますので、ご理解いただけましたら幸いです。

---

## 教育方針解説 (3) コア・カリキュラム

---

保健・医療・福祉の領域には様々な専門職があり、対象者を中心とするチームを組んでいます。このチームがうまく働くためには、専門職同士がお互いの仕事やその背景となる知識を理解する必要があります。チームを組む相手の仕事をよく知ることはその職種の尊敬につながり、臨床現場でよきパートナーシップを作るための基礎となります。しかし、現場ではどちらかという他職種との横のつながりが弱い傾向があります。これではよいチームワークは組みにくく、対象者のリハビリテーションにも差し障りがでる恐れも生じます。

そこで、本学では自らの専門性を深めるだけでなく、学生のうちから他の学科と共通のプログラムを組み、他の専門職の仕事の内容をある程度理解できるカリキュラムを作成し、将来のチームワークに役立てようと考えました。これをコア・カリキュラムと呼んでいます。1年

次の『基礎ゼミⅡ』や医療福祉基礎科目\*では、他学科の学生と共に学ぶことで互いの親近感を深め、学科の枠を越えたディスカッションやグループでの問題解決ができるように企画されています。臨床実習では、複数の学科の学生が共通の対象者を担当し、そのリハビリテーションをめぐる専門職同士のチームワークのあり方を体験できるようにプログラムを考えています。

このような内容を習得することによって、専門職がしっかりと手をつなぎ、様々な障害を負った対象者の人々が渡るリハビリテーションという橋を支える役割を担うことができるようになることを願っております。コア・カリキュラムは本学独自のカリキュラムであり、学生にはぜひこの考え方を理解して、勉学に実習に励んでもらいたいと考えております。

\*医療福祉基礎科目：専門科目への導入となる科目群です。医学概論、解剖学、生理学、社会福祉総論、ボランティア論 等を含みます。



# 教員紹介

平成13年度就任 専任教員

## 氏名

- ・職
- ・前職
- ・専門分野
- ・出身県

## 理学療法学科

### 黒川幸男

- ・教授
- ・北里大医療衛生学部
- ・理学療法教育学
- ・東京都

### 高木昭輝

- ・教授
- ・広島大医学部保健学科
- ・運動病態学
- ・愛媛県

### 牧田光代

- ・教授
- ・昭島市高齢者住宅在宅サービスセンター愛全園
- ・地域理学療法学
- ・静岡県

### 山田まりえ

- ・教授
- ・東京歯科大
- ・解剖学
- ・新潟県

### 押木利英子

- ・助教授
- ・新潟リハ専門学校
- ・発達障害系理学療法学
- ・栃木県

### 寺島和浩

- ・助教授
- ・新潟大工学部
- ・リハビリテーション工学
- ・山形県

### 大西秀明

- ・講師
- ・東北大学院
- ・運動学
- ・大阪府

## 作業療法学科

### 矢谷令子

- ・教授
- ・国際医療福祉大
- ・作業療法学概論
- ・茨城県

### 入江建久

- ・教授
- ・国立公衆衛生院
- ・住居における環境学
- ・東京都

### 櫻井浩治

- ・教授
- ・新潟大医学部保健学科長
- ・生命倫理、精神医学
- ・新潟県

### 永井洋一

- ・助教授
- ・札幌医大保健医療学部
- ・発達障害作業療法学
- ・新潟県

### 榎本郁子

- ・講師
- ・社会福祉法人平心会
- ・基礎作業学
- ・東京都

### 岡村太郎

- ・講師
- ・高知リハ学院
- ・精神障害作業療法学
- ・大阪府

## 言語聴覚学科

### 湧井 豊

- ・教授
- ・上越教育大副学長
- ・小児言語障害
- ・新潟県

### 大橋 靖

- ・教授
- ・新潟大名譽教授
- ・口腔外科学
- ・東京都

### 渋谷直樹

- ・教授
- ・東北厚生年金病院
- ・成人失語症
- ・山形県

### 磯野信策

- ・助教授
- ・新潟大歯学部附属病院
- ・機能的・器質性構音障害
- ・新潟県

### 今村 徹

- ・助教授
- ・兵庫県立高齢者脳機能研究センター
- ・行動神経学、神経心理学
- ・大阪府

### 相場恵美子

- ・講師
- ・新潟大脳研究所
- ・神経心理学・認知心理学
- ・新潟県

## 健康栄養学科

### 村山篤子

- ・教授
- ・川村短期大生活学科長
- ・調理科学
- ・東京都

### 堀田康雄

- ・教授
- ・カリフォルニア大名譽教授
- ・生化学・分子生物学
- ・愛知県

### 荒井富佐子

- ・教授
- ・桜の聖母短期大
- ・給食管理
- ・福島県

### 高橋一栄

- ・教授
- ・鳥屋野中学校校長
- ・体育科教育
- ・新潟県

### 山本通子

- ・教授
- ・防衛医科大学校第3内科
- ・代謝・内分泌学
- ・千葉県

### 宮岡洋三

- ・教授
- ・山形県立米沢女子短大
- ・生理学
- ・北海道

### 遠藤和男

- ・教授
- ・新潟大医学部
- ・衛生・公衆衛生学
- ・新潟県

### 斎藤トシ子

- ・助教授
- ・仙台市健康増進センター
- ・健康教育学
- ・福島県

### 村山伸子

- ・助教授
- ・東北大学院医学系研究科
- ・公衆栄養学
- ・新潟県

### 伊藤直子

- ・講師
- ・農水省農業生物資源研究所
- ・植物の分子遺伝学
- ・広島県

### 川中健太郎

- ・講師
- ・ワシントン大医学部応用生理学部門研究員
- ・運動生理学
- ・福岡県

### 西原康行

- ・講師
- ・(株)ミズノ経営企画部
- ・スポーツ経営学・社会学
- ・長野県

## 社会福祉学科

### 山手 茂

- ・教授
- ・東洋大
- ・社会福祉学・社会学
- ・東京都

### 小野昭一

- ・教授
- ・上越教育大名譽教授
- ・英語教育・英語学
- ・新潟県

### 手塚直樹

- ・教授
- ・静岡県立大
- ・障害福祉論
- ・東京都

### 林 干治

- ・教授
- ・新潟市（保健行政・医師）
- ・内科学
- ・長野県

### 塩見義彦

- ・助教授
- ・新潟県（福祉行政）
- ・児童福祉論
- ・新潟県

### 伊東正裕

- ・助教授
- ・東京都（福祉教育）
- ・臨床心理学
- ・東京都

### 豊田 保

- ・助教授
- ・東京都（福祉教育）
- ・地域福祉論
- ・東京都

### 伊藤富士江

- ・助教授
- ・聖カタリナ女子大
- ・社会福祉援助技術論
- ・東京都

### 柴山悦子

- ・講師
- ・藤田保健衛生大学病院
- ・医療福祉論
- ・長崎県

### 丸田秋男

- ・講師
- ・新潟県（福祉行政）
- ・ソーシャルワーク論
- ・新潟県

### 横山豊治

- ・講師
- ・上智社会福祉専門学校
- ・社会福祉援助技術・実習
- ・新潟県

### 廣瀬清人

- ・講師
- ・東北福祉大
- ・心理学、健康心理学
- ・北海道

## 関連病院・福祉施設

### 新潟リハビリテーション病院

(完成予想図)

新潟県豊栄市木崎字尾山前761番地

☆新潟医療福祉大学の附属病院的機能を持った病院として、平成13年4月1日に開院しました。回復期リハビリを中心とした総合リハビリテーション病院であるとともに、臨床教育病院でもあります。



### 愛宕の園

新潟県新潟市松潟1510

在宅介護支援センター

特別養護老人ホーム

短期入所施設

通所介護（デイサービスセンター）

## 介護老人保健施設



### 尾山愛広苑

新潟県豊栄市木崎字尾山前754



### 関川愛広苑

新潟県岩船郡関川村大字湯沢728-7



### 中条愛広苑

新潟県北蒲原郡中条町大字十二天字柳田91-1



### 相川愛広苑

新潟県佐渡郡相川町大字大浦571



### 新井愛広苑

新潟県新井市大字小原新田528

新潟医療福祉大学は上記関連施設以外に学外実習施設として310施設から協力をいただいています。

## 伝言板

### ★学生ボランティア募集

来る7月14日（土）、15日（日）に「第19回全国失語症者のつどい新潟大会」が開催されます。全国からおいでになる一千人以上の患者さんや御家族、リハビリ関係者を暖かくお迎えするため、学生ボランティアを募ります。

学部・学科を問いません。全国の患者さん達と直に接することのできるまたとない貴重な機会ですからぜひ御協力ください。

問い合わせ先：言語聴覚学科 相場恵美子